

市の将来都市像
多摩丘陵にはばたく
市民文化都市

第1389号

発行・町田市 編集・企画部広報広聴課
〒194-8520 東京都町田市の中町1-20-23
市役所の代表電話042・722・3111
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

中小企業の優秀な技術や製品等を一堂に集め、広く紹介し、地域経済の活性化の促進などを目的として「町田市テクノフェア2004」が開催されます。今年で8回目、61の企業・団体・学校が参加します。今回は、在日イタリア商工会議所が特別に出展します。入場は無料です。

日時 2月20日(金)午前10時～午後5時、21日(土)午前10時～午後4時

会場 ホテル ザ・エルシイ町田(原町田3・2・9)

内容 製品や技術の展示・PR、商談ルーム、各種相談コーナー、販売

【2月20日】
「講演会「ソーラーカーレースとソーラーエネルギーの利用技術」(ビジネス交流パーティー)」
【2月21日】
「パーソナルロボット「パペロ」の楽しいステージ」
「ものづくり体験コーナー(オーディオアンプの制作)」
「カラクリ人形の展示・実演・販売」

21世紀を拓く技術と製品の展示会 町田テクノフェア2004



昨年のテクノフェア

ホームページ (http://www.machida.cci.or.jp/tec_hno_2004/) に予約が必要
な催しもあります。ご確認下さい。

町田市テクノフェア実行委員会
町田商工会議所 ☎722・5957
町田市商工観光課 ☎724

鶴川子どもセンターの 着工式が行われました

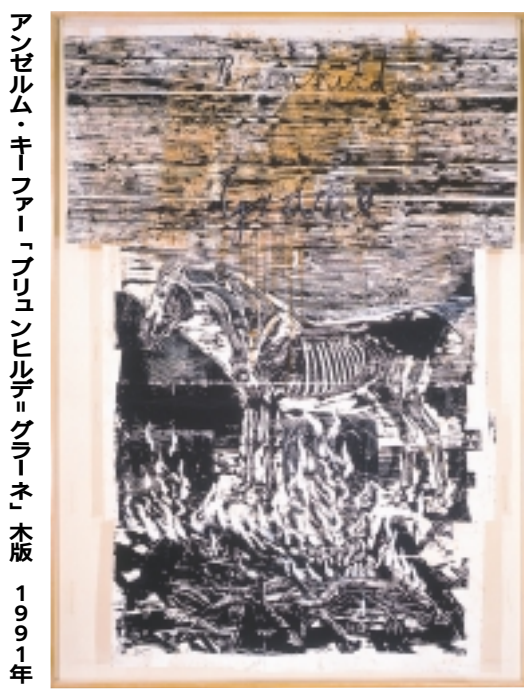


(仮称)鶴川子どもセンター 着工式

旧鶴川中学校跡地(大蔵町19番地)に建設される(仮称)鶴川子どもセンターの着工式(写真上)が1月23日、寺田市長や関係者が出席して行われました。子どもセンターは、市の重点施策でもある町田市子育て子育て支援計画の一環として、子育てを支援し、子どもが健やかに成長する環境を作るため、「遊びの拠点」「子どもが安心して過ごせる居場所」・「子育てを支援する場所」として設置するものです。子どもセンターは、あんに続く2番目の施設で、学童保育クラブが併設されています。

この施設は設計段階から、鶴川地区の住民で組織された鶴川子どもセンター検討委員会や小中学生で組織された子ども委員会の皆さんが参加し、子どもたちの意見や要望を十分に取り入れた設計となっています。建物は鉄筋コンクリート造り2階建て、一部鉄骨造りで建築面積は1023・85㎡、延べ床面積は1499・42㎡で1階にはプレイルーム、造形室、情報図書コーナーなど、2階は学童保育室、スタジオ、談話室、多目的室などが設置されます。オープンは2005年4月を予定しています。

完成予想図



アンゼラム・キファー「ブリュンヒルデグラーネ」木版 1991年

同時開催(常設展示室)
版画いろいろ4
小特集「小林清親」明治の東京風景

第17回町田市公立小中学校作品展 小学校書写展

会期 2月15日まで 入場無料

子どもたちが、日ごろ学校で学習した書写の意欲あふれる作品を集めた作品展です。
ご家族そろっておいで下さい。
会場 同館・企画展示室1

会期 2月21日(土)～4月11日(日)

休館日 月曜日

観覧時間 火・金曜日 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 土・日曜・祝日は午前10時～午後5時30分(入館は午後5時まで)

観覧料 一般400円、大学・高校生及び65歳以上の方は200円、小・中学生無料

初日(2月21日)は無料。

学芸員によるギャラリートーク

日時 3月13日、27日(いずれも土曜日)午後2時から

第2次世界大戦以降の欧米では、パブロ・ピカソ、ジョアン・ミロ、フェルナン・レジェといった既に「巨匠」として名声を確立していた作家達が制作する版画に加え、20世紀後半に次々に登場した美術の流れと敏感に反応した多彩な作家たちの作品が注目を集めました。原色で構成されたアンゼラム・キファーの版画は、そのドラマティックな展開と多様化をご紹介するものです。ぜひご覧下さい。

デー・ウォーホールやロイ・リキテンスタインのポップ・アート、したたり落ちる水滴を重ねたようなサム・フランシスの色彩豊かな抽象、夢の記憶を版画に置き換えたボロフスキー、ワグナーの楽劇に主題を取り現代の「死」を表現したアンゼラム・キファーなど、この展覧会では20世紀後半の欧米作品約100点を展示し、そのドラマティックな展開と多様化をご紹介するものです。ぜひご覧下さい。



ロイ・リキテンスタイン「船上の少女」1965年
シルクスクリーン 60×48.5

国際版画
美術館
7260860

伝統と革新
20世紀という時代

欧米の現代版画